

まちづくり交付金 フォローアップ報告書
駅北地区

平成23年4月

高知県香美市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	定住人口の促進	人	2,535	2,654	2,843	確定 見込み ●	○	あり なし	2,891	H22年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	都市計画道路等の整備や周辺住環境の整備により宅地開発が進んだことから人口増につながった。
指標2	交流人口	人/年	9,438	10,638	139,051	確定 見込み ●	○	あり なし	129,932	H23年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	子どもの広場等の供用開始、周辺施設の整備により大幅に来園者数が増加した。
指標3	駅北地区住民のまちづくり満足度	%	86.6(参考値)	50以上	83.3	確定 見込み ●	○	あり なし	78.2	H22年9月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	整備全体について、地区住民から一定の評価を得ることができた。
指標4						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標2					確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標3					確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> 成果を持続させるために行う方策 	一定の定住人口の促進がはかられた	ふれあいグリーンキャンペーンにより公園内に桜の苗木を植樹した。	将来の桜の名所として期待されている。他の観光名所との相乗効果が期待できる。	各施設のPR、適正な維持管理を今後も図っていく。
	地域住民との連携	今後のまちづくりを検討するうえで重要な要素となる都市計画道路新町西町線の必要性や役割についての住民懇談会を開催した。	懇談会のなかで、社会情勢や経済情勢の変化に対応し、高齢者、子ども等の沿線住民も利用しやすい都市計画道路網となるよう都市計画の変更も含めた再検証を望んでいる住民の意見が多く出された。	住民懇談会の意見を参考に都市計画道路網を再検討し、都市計画決定の変更や事業認可等の具体的作業を継続的に進めていく。
改善策 <ul style="list-style-type: none"> まちづくりの目標を達成するための改善策 残された課題・新たな課題への対応策 その他 必要な改善策 	短期的流入人口による地域間の希薄性の問題	具体的には実施していない。	-	各種行事への積極的な参加や連携など、地域間の希薄性の問題解消に向けた一定の動きがみられる。
	JR土佐山田駅北口の新設整備による駅北地区の公共機能性の向上と定住化の促進	具体的には実施していない。	-	都市計画道路新町西町線の都市計画決定の変更や事業認可等の具体的作業と平行し、次期都市計画事業としてJR土佐山田駅北口の整備を今後のまちづくりにどのように位置付けるか調査・検討を行う必要がある。
	高齢化社会に対応したまちづくり	今後のまちづくりを検討するうえで重要な要素となる都市計画道路新町西町線の必要性や役割についての住民懇談会を開催した。	懇談会のなかで、社会情勢や経済情勢の変化に対応し、高齢者、子ども等の沿線住民も利用しやすい都市計画道路網となるよう都市計画の変更も含めた再検証を望んでいる住民の意見が多く出された。	住民懇談会の意見を参考に都市計画道路網を再検討し、都市計画決定の変更や事業認可等の具体的作業を継続的に進めていく。
	南北道路の整備	今後のまちづくりを検討するうえで重要な要素となる都市計画道路新町西町線の必要性や役割についての住民懇談会を開催した。	懇談会のなかで、社会情勢や経済情勢の変化に対応し、高齢者、子ども等の沿線住民も利用しやすい都市計画道路網となるよう都市計画の変更も含めた再検証を望んでいる住民の意見が多く出された。	住民懇談会の意見を参考に都市計画道路網を再検討し、都市計画決定の変更や事業認可等の具体的作業を継続的に進めていく。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

都市再生整備計画(清算報告)

えききた
駅北地区

こうち かみし
高知県 香美市

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	高知県	市町村名	香美市	地区名	駅北地区	面積	79 ha
計画期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度	交付期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度				

目標
 ひと・自然・文化が豊かな暮らしを織りなす定住都市 ～人口定着・交流機能強化による均衡のとれた地域振興～

目標設定の根拠
 まちづくりの経緯及び現況
 香美市は県都高知市に近接しておりベッドタウン的要素をもちながら中心市街地は約1万人が居住し、都市的機能も備えたまとまりのある市街地を形成している。また高知広域都市計画区域に位置し、昭和45年以降街路事業、公共下水道事業、都市公園事業、土地区画整理事業等の整備を進めている。平成12年度より旧建設省の「まちづくり総合支援事業」を導入し「駅北地区」として人口定着と交流機能強化による均衡のとれた地域振興を進めてきた。特に地方拠点都市の指定を受けて平成9年には高知工科大学が開校し、学生約2,000人が集う町となり人口増となった。さらに定住人口の増加を目指すことから駅北地区を東西に通過する都市計画道路高知山田線を主幹線として都市計画道路秦山公園線、宮前秋月丸線の整備を進めてきた。また交流人口の促進として秦山公園の土佐山田スタジアムなどが供用開始されプロ野球等スポーツによる交流拠点として活用されている。さらに平成15年度には住民参加による『土佐山田町都市計画マスタープラン』が策定され、駅北地区の社会基盤整備が重要な課題として明示されている。現在、最終年度となる「まちづくり総合支援事業」は平成17年度供用を目標に「こどもの広場」、「いこいの広場」などこどもの健全な育成を目標として良好な居住環境を目指している。

課題
 ①土佐山田町の市街地排水問題 ②短期的流入人口による地域間の希薄性の問題 ③地域住民と行政のまちづくり連携の希薄性 ④JR土佐山田駅北口の新設整備による駅北地区の公共機能性の向上と定住化の促進 ⑤高齢化社会に対応したまちづくり

将来ビジョン(中長期)
 『土佐山田町都市計画マスタープラン』に沿ったまちづくりの推進 将来像「土佐山田町の核としてふさわしいにぎわいのある市街地」を目指します。
 ①秦山公園を中心に歴史・文化の香るまちの整備 ②都市計画道路高知山田線沿線の地域とJR土佐山田駅周辺を町の交流拠点としての整備 ③高知山田線、都市計画道路宮前秋月丸線の早期整備をめざす。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
				基準年度	目標年度	基準年度	目標年度
定住人口の促進	人	駅北地区の定住人口の増加	定住人口の促進を目標として人口の増加を目標値として数値化	2,535人(平成16.4)	平成15年度	2,654人	平成21年度
交流人口促進	人/年	秦山公園の来園者数の増加	交流人口の促進を目標として来園者数の増加を目標値として数値化	9,438人	平成15年度	10,638人	平成21年度
駅北地区住民のまちづくり満足度	%	駅北地区住民のまちづくりに対する意識調査(満足度)	駅北地区住民のまちづくり満足度	86.6%(参考値)	平成17年度	まちづくり満足度の数値が過半数(50%以上)	平成21年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・人口定着の受け皿を整備するために、地区内の補助幹線街路網の整備、あわせて公共下水道のインフラ整備を進め、都市計画公園秦山公園を中心とした良好な居住環境の整備並びに秦山公園による交流人口強化の促進、さらに既設道路による公園周辺の史跡、美術館などとのロードネットワーク整備を進め、子供から高齢者まで安心して暮らせるまちづくりを目標とする。</p>	<p>①都市公園秦山公園整備事業の推進 ②都市計画道路秦山公園線の防犯灯の整備 ③地域の防犯灯整備 ④市道の新設並びに既設市道の修繕 ⑤既設道路に公共施設公園、史跡などの誘導サイン整備</p>
<p>その他</p>	

